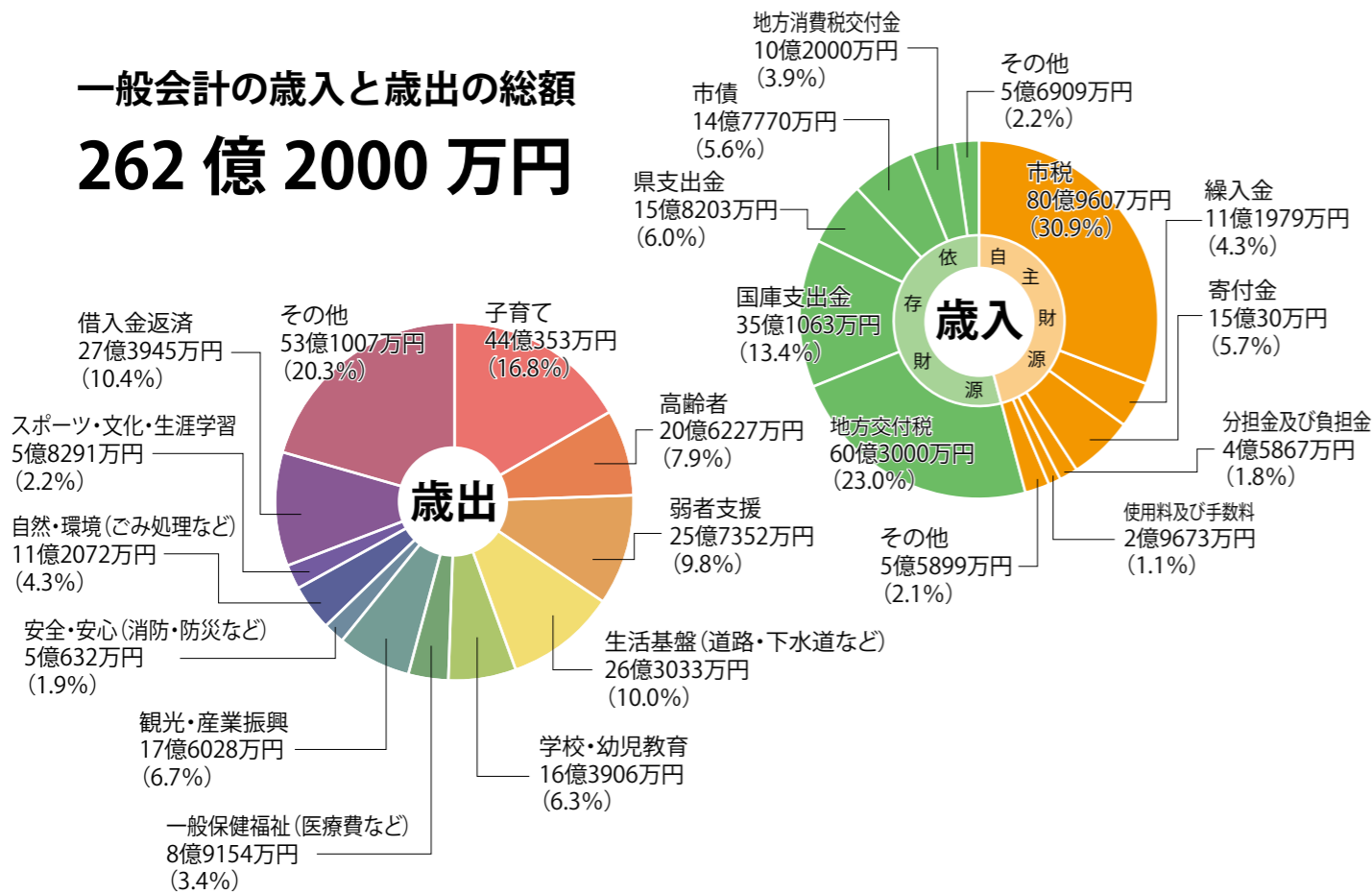


# 一般会計の歳入と歳出の総額 262億2000万円



◆市民一人当たりに使われるお金 合計 384,249円 ※4月1日現在の人口(6万8237人)から算出

| 項目      | 内容                     | 金額      | 項目           | 内容                      | 金額      |
|---------|------------------------|---------|--------------|-------------------------|---------|
| 子育て     | 児童手当、小児医療費助成、保育所運営など   | 64,533円 | 観光・産業振興      | 観光、農林業、商工業              | 25,797円 |
| 高齢者     | 介護保険特別会計への繰出金、生涯現役促進など | 30,222円 | 安全・安心        | 消防、防災                   | 7,420円  |
| 弱者支援    | 障がい者、生活困窮者への扶助、相談など    | 37,715円 | 自然・環境        | ごみ処理、自然環境保全             | 16,424円 |
| 生活基盤    | 道路整備・維持補修、下水道整備など      | 38,547円 | スポーツ・文化・生涯学習 | 文化財保護、体育施設の維持管理、公民館講座など | 8,542円  |
| 学校・幼児教育 | 幼稚園・小学校・中学校の教育         | 24,020円 | 借入金返済        | 市債の償還                   | 40,146円 |
| 一般・保健福祉 | 国保特別会計繰出金、予防接種、健康増進など  | 13,065円 | その他          | 人件費、市民サービスなど            | 77,818円 |

| 区分              | 平成29年度     | 平成28年度     | 増減         | 前年度比   |
|-----------------|------------|------------|------------|--------|
| 一般会計            | 262億2000万円 | 272億2000万円 | ▲10億円      | ▲3.7%  |
| 特別会計            | 185億1100万円 | 184億8100万円 | 3000万円     | 0.2%   |
| 国民健康保険          | 82億6700万円  | 84億6000万円  | ▲1億9300万円  | ▲2.3%  |
| 後期高齢者医療         | 8億3400万円   | 8億2400万円   | 1000万円     | 1.2%   |
| 介護保険            | 58億1400万円  | 54億8800万円  | 3億2600万円   | 5.9%   |
| 農業集落排水事業費       | 3億900万円    | 3億900万円    | 0円         | 0%     |
| 公共下水道事業費        | 21億9000万円  | 21億8600万円  | 400万円      | 0.2%   |
| 国民宿舎事業費         | 7億800万円    | 7億200万円    | 600万円      | 0.9%   |
| 総社駅南地区土地区画整理事業費 | 3億8900万円   | 5億1200万円   | ▲1億2300万円  | ▲24.0% |
| 公営企業会計          | 22億4380万円  | 22億8939万円  | ▲4559万円    | ▲2.0%  |
| 水道事業            | 22億1280万円  | 22億5550万円  | ▲4270万円    | ▲1.9%  |
| 工業用水道事業         | 3100万円     | 3389万円     | ▲289万円     | ▲8.5%  |
| 合計              | 469億7480万円 | 479億9039万円 | ▲10億1559万円 | ▲2.1%  |



長良地内に完成した岡山郵便局。市の東の玄関口が変わりつつある

# 総社を変える。本格予算始動

平成29年度当初予算を「総社を変える本格予算」と命名。全国屈指の福祉文化先駆都市に向けた福祉王国プログラムや、南北道の整備をはじめとするグランドデザイン改革で総社市を変えていきます。

一般会計と7つの特別会計、2つの公営企業会計(水道)の平成29年度当初予算が決まりました。

一般会計の総額は262億2000万円と、前年度当初予算と比べ10億円、3.7%の減額となり、過去3番目の予算規模となりました。減額の主な要因は、下倉地区に整備していた一般廃棄物最終処分場建設事業の完了や、待機児童解消のために助成を行っていた私立保育所の新設が完了したことに伴うものです。

市の借金である市債の償還は、約27億3945万円と前年度当初比で2.1%減少し、全体の10.4%を占めています。

一般会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。水道関連の公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。

特別会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。国民健康保険は、前年度当初比2.3%の減で、82億6700万円。後期高齢者医療は、前年度当初比1.2%の増で、8億3400万円。介護保険は、前年度当初比5.9%の増で、58億1400万円。農業集落排水事業費は、前年度当初比0%で、3億900万円。公共下水道事業費は、前年度当初比0.2%の増で、21億9000万円。国民宿舎事業費は、前年度当初比0.9%の増で、7億800万円。総社駅南地区土地区画整理事業費は、前年度当初比24.0%の減で、3億8900万円。公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。水道事業は、前年度当初比1.9%の減で、22億1280万円。工業用水道事業は、前年度当初比8.5%の減で、3100万円。合計は、前年度当初比2.1%の減で、469億7480万円。

お金の約3割を占める市税は、約80億9607万円を見込んでいます。前年度当初予算と比べ1億9518万円、率にして2.5%の増。企業誘致による工場などの建設と、人口が増加したことに伴い、固定資産税や市民税の増収増加が見込まれることによるものです。そのほかの主な財源は、地方交付税や国からの補助金、市債の借入れ、財政調整基金などの基金からの繰入金で充てています。

平成29年度当初予算を「総社を変える本格予算」と命名。全国屈指の福祉文化先駆都市に向けた福祉王国プログラムや、南北道の整備をはじめとするグランドデザイン改革で総社市を変えていきます。

一般会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。水道関連の公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。

特別会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。国民健康保険は、前年度当初比2.3%の減で、82億6700万円。後期高齢者医療は、前年度当初比1.2%の増で、8億3400万円。介護保険は、前年度当初比5.9%の増で、58億1400万円。農業集落排水事業費は、前年度当初比0%で、3億900万円。公共下水道事業費は、前年度当初比0.2%の増で、21億9000万円。国民宿舎事業費は、前年度当初比0.9%の増で、7億800万円。総社駅南地区土地区画整理事業費は、前年度当初比24.0%の減で、3億8900万円。公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。水道事業は、前年度当初比1.9%の減で、22億1280万円。工業用水道事業は、前年度当初比8.5%の減で、3100万円。合計は、前年度当初比2.1%の減で、469億7480万円。

平成29年度当初予算を「総社を変える本格予算」と命名。全国屈指の福祉文化先駆都市に向けた福祉王国プログラムや、南北道の整備をはじめとするグランドデザイン改革で総社市を変えていきます。

一般会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。水道関連の公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。

特別会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。国民健康保険は、前年度当初比2.3%の減で、82億6700万円。後期高齢者医療は、前年度当初比1.2%の増で、8億3400万円。介護保険は、前年度当初比5.9%の増で、58億1400万円。農業集落排水事業費は、前年度当初比0%で、3億900万円。公共下水道事業費は、前年度当初比0.2%の増で、21億9000万円。国民宿舎事業費は、前年度当初比0.9%の増で、7億800万円。総社駅南地区土地区画整理事業費は、前年度当初比24.0%の減で、3億8900万円。公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。水道事業は、前年度当初比1.9%の減で、22億1280万円。工業用水道事業は、前年度当初比8.5%の減で、3100万円。合計は、前年度当初比2.1%の減で、469億7480万円。

平成29年度当初予算を「総社を変える本格予算」と命名。全国屈指の福祉文化先駆都市に向けた福祉王国プログラムや、南北道の整備をはじめとするグランドデザイン改革で総社市を変えていきます。

一般会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。水道関連の公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。

特別会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。国民健康保険は、前年度当初比2.3%の減で、82億6700万円。後期高齢者医療は、前年度当初比1.2%の増で、8億3400万円。介護保険は、前年度当初比5.9%の増で、58億1400万円。農業集落排水事業費は、前年度当初比0%で、3億900万円。公共下水道事業費は、前年度当初比0.2%の増で、21億9000万円。国民宿舎事業費は、前年度当初比0.9%の増で、7億800万円。総社駅南地区土地区画整理事業費は、前年度当初比24.0%の減で、3億8900万円。公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。水道事業は、前年度当初比1.9%の減で、22億1280万円。工業用水道事業は、前年度当初比8.5%の減で、3100万円。合計は、前年度当初比2.1%の減で、469億7480万円。

平成29年度当初予算を「総社を変える本格予算」と命名。全国屈指の福祉文化先駆都市に向けた福祉王国プログラムや、南北道の整備をはじめとするグランドデザイン改革で総社市を変えていきます。

一般会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。水道関連の公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。

特別会計の総額は、前年度当初比0.2%増の185億1100万円。国民健康保険は、前年度当初比2.3%の減で、82億6700万円。後期高齢者医療は、前年度当初比1.2%の増で、8億3400万円。介護保険は、前年度当初比5.9%の増で、58億1400万円。農業集落排水事業費は、前年度当初比0%で、3億900万円。公共下水道事業費は、前年度当初比0.2%の増で、21億9000万円。国民宿舎事業費は、前年度当初比0.9%の増で、7億800万円。総社駅南地区土地区画整理事業費は、前年度当初比24.0%の減で、3億8900万円。公営企業会計は、前年度当初比2.0%の減で、22億4380万円。水道事業は、前年度当初比1.9%の減で、22億1280万円。工業用水道事業は、前年度当初比8.5%の減で、3100万円。合計は、前年度当初比2.1%の減で、469億7480万円。